

「北九州エコマンス」の実施について

～市制50周年記念・100万人の環境月間～

別紙1

■概要

市制50周年を記念して、10月を「北九州エコマンス」というタイトルを付け、同月に開催される環境分野の国際会議や環境イベントなどをトータルに発信

⇒ ロゴマーク、公式ガイドブックの発行など

■背景

北九州市制50周年

北九州市50年の歴史は「環境」との共存の歴史。いまや「北九州市＝環境」といわれるほど。

衛生総連合会50年

北九州市の環境にとって最大の資産は「市民環境力」である。

■課題等

家庭ごみ排出量等の横ばい

H18年度の家庭ごみ収集制度の見直し以来、家庭ごみの排出量は減少し続けてきたが、ここにきて限界が見えつつある。

世界の環境首都としての発信力の強化

OECDのグリーンシティモデル都市であることを市民に伝え、さらなるグリーン成長を進めることが求められる。

市民環境力のさらなる向上

衛生総連合会のほか、北九州ESD協議会など、多くの団体の活動は定着しているが、さらなる活性化が望まれる。

■実施内容

北九州エコマンス

～100万人の環境月間～



KITAKYUSHU
ECO-MONTH

主要事業

- エコライフステージ (10月19日～20日)
- エコテクノ (10月16日～18日)
- 市民いっせいまち美化の日 (10月6日)
- まなびとESDステーション 主催イベント (調整中)
- エコツアー など

主要事業

- 市民いっせい 雑がみ回収グランプリ (調整中)
- 「使い切り、食べ切り、水切り」啓発の強化 (4月から随時実施、10月に取組みを強化)

主要事業

- OECDグリーンシティプログラム 北九州レポート発表記念会議 (10月18日)
- 第3回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム (10月19日)
- 都市づくりの将来に関する国際会議 (10月20日)
- 第6回アジア太平洋RCE地域会議 (10月21日)

(1)市民環境力の強化

毎年10月に開催している「エコライフステージ」、「エコテクノ」、「まち美化の日」などの環境イベントの内容を拡大・充実し、今後の市民環境力の強化を図る。

(2)ごみの減量化とリサイクルの推進

コンテストを通じ、市民が雑がみのリサイクルに取り組むきっかけをつくるとともに、ごみの減量化とリサイクルの重要性を市民に改めて理解してもらい、生活の中で実践していただく働きかけを行う。

(3)市民を挙げて発信

外国からのお客様に対し、市民を挙げて歓迎する機運を盛り上げるとともに、会議の情報を内外に向け発信することで、多くの方に本市の環境の取組みが国際的に高く評価されていることを誇りに感じていただき、今後の活動の励みとする。

■実施組織

市民と一体になった取組みにするため、市と環境関係団体が参加する「北九州エコマンス推進会議」を組織する。

北九州エコマンス推進会議

- ・北九州市衛生総連合会
- ・北九州ESD協議会
- ・北九州活性化協議会もつたない総研
- ・北九州商工会議所
- ・NPO法人里山を考える会
- ・北九州市婦人会連絡協議会
- ・北九州まなびとESDステーション
- ・北九州エコライフステージ実行委員会
- ・北九州市環境局 など

環境局内各課

- 総務課(事務局、広報)
- 環境学習課(RCE地域会議ほか)
- 環境未来都市推進室(エコテクノほか)
- 環境国際戦略課、アジア低炭素化センター(OECDほか)
- 業務課(まち美化の日ほか)
- 循環社会推進課(雑がみGPIほか) など

■主なスケジュール

- 6月3日 「第1回推進会議」の開催
- 7月 かえるプレスで告知
- 8月 「第2回推進会議」の開催(予定)
- チラシ配布、ポスター掲示
- 9月 市政だより、市政テレビを活用した広報
- 公式ガイドブック発行
- 10月 **エコマンス 実施**

北九州市民環境力の持続的発展